

## From Ibigawa S A B O

8月20日に広島市で起きた大規模な土砂災害は、死者・行方不明者合わせて74名、その他負傷者や家屋の損壊も多数に上るなど、大変痛ましい災害となりました。当事務所からも3名の職員がTEC-FORCE隊員として災害現場に派遣されました。事務所管内でも同様の災害を防ぐべく事業を進め、砂防事務所の責務を果たしていきます。

### 広島土砂災害へTEC-FORCE隊員派遣 ～捜索の安全確保と二次災害防止へ～

広島市で発生した土石流は、発生からわずか1分足らずで住宅地に到達する箇所もあったと言われ、避難する余裕もなかったようです。今なお自衛隊・警察・消防等による捜索活動が行われており、国土交通省からも捜索活動開始前の安全確認や、今後の降雨による二次災害防止に向けた現地調査等を行うため、全国からTEC-FORCE隊員が派遣されています。当所からも中部地方整備局からの第2陣派遣隊員として、三浦副所長・川島工務係長・飯岡技術係長の3名が8月28日より現地入りしました。派遣中は主に安佐南区の毘沙門台（びしゃもんだい）地区の溪流点検を行い、9月1日に任務を終え無事帰還しました。



越美職員で毘沙門台地区を点検



国土省の活動に報道も注目

### 重機を寄せ付けない急斜面 =大谷川=

揖斐川町坂内広瀬（さかうちひろせ）地先で工事を進める大谷川（おおたにがわ）第3砂防堰堤道路工事（施工：株久保田工務店）では、現在砂防堰堤を建設するための工事用道路を設置する工事を行っています。

設置する斜面があまりにも急勾配のため、大型の重機が寄りつく事が出来ず、やむを得ず発破を併用しながら人力でオーバースタック状の不安定な岩盤の掘削に挑んでいます。



“ボム！”音と共に砕け散る岩

### 根尾の原風景に響くオカリナの音色

8月23日に本業市根尾のうすずみ公園にて、宗次郎淡墨桜コンサートが開かれました。このコンサートは今年で22回を数え、当日は雨で開演が危ぶまれましたが、根尾の風景に溶け込むオカリナの音色は、夏のお天道様も静かに聞き入りたくなる音色だったようです。



根尾中学校の生徒さんとも共演

### 自治体の防災訓練で砂防事業をPR

8月31日に当所管内の揖斐川町・本業市それぞれで防災訓練が実施されました。当事務所から両訓練会場にブースを設け、過去の土砂災害やTEC-FORCE活動のパネル展示等を行い、砂防事業に対するご理解・ご協力をお願いしました。また、本業市のブースでは、地震による深層崩壊で発生した天然ダムの決壊に伴う被害を想定したCG映像を流し、土砂災害の危険性を伝えました。



CG画面で村上技官が説明

### 建設現場に潜入だ！ =大蔵谷=

岐阜県及び（一社）岐阜県建設業協会が主催する「～夏休み特別企画バスツアー～ 親子でドキドキ みんなでワクワク 建設現場に潜入だ！」が8月23日に開催され、揖斐川町椋原（かしはら）地先で工事を進める大蔵谷（おぞうたに）第1砂防堰堤工事（施工：西濃建設株）の工事現場にも、小中学生が見学に訪れました。

当現場では、土砂災害を防ぐための砂防施設の役割や工事現場の紹介と、建設機械の乗車体験をしていただきました。バックホーやタイヤショベルに搭乗し運転レバーを操作したり、運転席からの見え方を体験するなど、見るだけでなく体感をしていただき、日頃触れることができない建設機械を前にして、子供達にはドキドキ・ワクワクの大好評でした。



重機の乗車体験にワクワク



トランシットも覗いたよ

また、8月29日には横山ダム50周年地域交流事業 地域交流ツアー「治水史を学ぶエクスカージョン」のツアー参加者への工事現場見学も行いました。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp)